

**理事長** 進学や就職が過疎化に繋がっているのだろうと思います。しかしながら子どもの比率が全国と比較して多いことは三原の強みだと思います。学校や企業を充実させて、まちの知名度向上を図ってゆかなければなりません。そして人口の流出ではなく、流入させてゆかなければなりません。

### 【市の財政面では？】

**市長** 行財政の効率化や都市間競争に打ち勝つという点は、常に重きをおいて考えています。過去に行政の効率化として平成の大合併がありましたが、これだけでは充分ではありません。今後税収増を見込むことは難しく、財政面で身の丈に合った行政運営を行なわなければならぬと思っています。行財政の改革にあたり、市職員数の見直しを行なっています。合併時1092人いた職員も、来年4月には1000人を切ってくる予定です。しかし、少ない職員の数になってもサービスを低下させてはいけません。

**理事長** 具体的には市民はある程度の負担を覚悟しなければならないですし、行政は無駄使いのカット、それでも追いつかない効率の悪いサービスは切り捨てざるを得ません。そして市民のまちづくり活動への参画によって、行政負担も軽減できます。行政はもとより**市民も責任を背負う自覚**が無ければ、前には進まないと考えます。



## 【観光と商業の振興は？】

**理事長** 三原市には他に無い傑出した魅力が観光と商業に必要だと思います。観光については、臨海を活かした環境整備と、浮城をキーワードにしてオリジナリティづくりが必要だと思います。また三原単独ではなく、尾道や竹原、瀬戸田などと組み合わせてPRすることや、広島空港を活かして遠隔地からの観光の呼び込みを

考えてはどうでしょうか。

**市長** 現在ある三原の強いところを伸ばしてゆく必要があります。空港・高速道路・港・JRなどの交通の要衝であることを生かして利便性をPRし、三原以外の方がこの利便性を活用できるようにしなければなりません。

例えば、現在筆影山の展望台に上がるまでのアクセスが悪く、バスが通れないし駐車場が少ないので、幸崎に繋がる竜王山からの景観林道を平成24年までに整備します。また仏通寺へのアクセスも問題のある道路を整備中です。三原城跡を活かす必要があります。合併により小早川家ゆかりの地も旧1市3町に揃いました。三原と本郷には小早川隆景の築城した三原城跡と新高山城跡、久井には久井稻荷神社、大和町は小早川家ゆかりの棲真寺と、小早川家をネットワークで結びます。観光には広域化も必要です。また、糸崎港には大型客船にもっと入港してもらい、三原の観光の拠点となれば素晴らしいと思います。

**理事長** 商業については、海岸沿いの工業専用地域を商業にも開放し、例えば尾道の海岸通りのように海を活用した商業の発展を狙うというはどうでしょう。具体的には糸崎や今後完成する松浜地区ですが、ここを工業に限らず商業も出来る地域にすれば、新たな需要はあるのではないかでしょうか。

**市長** 松浜地区も埋立て後、一部土地を購入し給食の共同調理場をつくることを検討しています。三原は元々工業で栄えてきたまちで、さらに発展してゆくためにも工業誘致が必要です。都市間競争に打ち勝つにはオンラインをを目指さないといけません。まちの経済の活性となる投資も必要です。限られた財源の中からどう投資するかを悩んでいるところです。

【福祉の充実も必要】

**市長** そして、福祉の充実も大切なことです。高齢者にやさしい障害者にやさしいまちを目指してゆく必要があります。また、三原市は子育てにかなりの費用を使っています。学校の教育も大きなウェイトをもっています。そのような施策を行ないキラリと光る三原市を作りたいと思っております。

**理事長** 高齢者の多いまちですが「福祉のまち」を具体的に実現してはどうでしょう。高齢化、核家族化、配偶者との死別などにより一人暮らしのお年寄りが増えています。そこで、そのような方々が安心して暮らし、お年寄り同士のコミュニティが形成できるような市営住宅を、ペアシティ東館跡地に作ってはどうでしょう。そうすることで、補助的な施設も集まるでしょうし、高齢者福祉を軸にした中心市街地活性化が実現出来ないでしょうか。



**市長** 駅前の空洞化についてですが、駅を降りたら囮いが見える現状は三原に元気が無いように見えて残念です。これは三原市民と一緒に考えながら知恵を集めようと思っています。しかしそれを実行に移すにはある程度の時間がかかりますので、まずは埋め戻して開発開始までの間は市民のための多目的広場・駐車場として解放しようと考えています。

まとめ

### 【他者に求めるもの】

**理事長** 行政には皆がわくわくするような具体的なプランを頑張って考えてほしい。そして市民の皆さんにはもっと自分たちが暮らすまちに興味を持って、まちがもっと盛り上がり、良いまちになるよう、それぞれが意識し、考えて行動して頂きたい。行政がどれだけ頑張っても市民がついて来なければうまくいかないし、市民に熱い想いがあれば、変えてゆく窓口はある。今という時代は誰のせいでもなく、我々市民によってつくるものであり、また未来もそう。三原市民として、市民がまちづくりの主導権を握らなければいけないと思う。それがこれから協働のまちづくりだと考えます。三原JCの活動もより具体的に頑張っていきたいと思います。

2